

全国学力・学習状況調査分析結果

○篠原西小学校 全国学力・学習状況調査結果

	よい状況と考えられる内容	指導・改善が必要と考えられる内容
国語A	【読む能力】 ・登場人物の心情について、情景描写を基に捉える。 【言語についての知識・理解・技能】 ・文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く。 ・相手や場面に応じて適切に敬語を使う。	【言語についての知識・理解・技能】 ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。
国語B	【書く能力】 ・目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考える。 【話す・聞く能力】【書く能力】 ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。	【書く能力】 ・目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。
算数A	【数量や図形についての技能】 ・百分率を求めることができる。 【数量や図形についての知識・理解】 ・除法で表すことができる二つの数量の関係を理解している。 ・円周率の意味について理解している。	【数量や図形についての知識・理解】 ・単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解している。
算数B	【数学的な考え方】 ・棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができる。 【数量や図形についての知識・理解】 ・合同な三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができる。	【数学的な考え方】 ・示された考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現することができる。
理科	【科学的な思考・表現】 ・調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析できる。 ・実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善できる。 ・物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できる。	【科学的な思考・表現】 ・太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できる。 【自然事象についての知識・理解】 ・骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解している。

※国語A・算数A…主として知識についてのテスト

国語B・算数B…主として活用についてのテスト

（調査結果（課題）を踏まえての今後の取組）

- 3教科それぞれの本校の正答率を「全国（公立）」「神奈川県（公立）」「横浜市立小学校」の正答率と比較した結果、全て上回っていることが分かった。引き続き、基礎的・基本的な内容の定着を図っていく。
- 国語、理科では、自分の意見を持ち、それを表現することができるように、普段の授業の中で、じっくり考える時間を確保していく。また、意見を交流する活動を多く取り入れて、自分の考えを広げたり深めたりしていけるようにする。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字の読み・書きの設問で、指導・改善が必要とされるものが多かった。学校、家庭双方での漢字学習を引き続き行っていく。